

みみかわ河原番とは

「耳川をいい川にする」ことを目指し、森林(もり)から海まで流域一体となって実施されている各種取り組み(モニタリング調査や各種事業など)の評価結果や、改善状況についてお知らせするとともに、流域住民の皆様に、これからの耳川を見守っていただくための広報誌となるよう「みみかわ河原番」と命名し発行するものです。(年1回発行)

(発行) 耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会事務局
宮崎県土整備部河川課 宮崎市轟通東2丁目10番1号
TEL 0985-26-7186

Vol.1



【①平成23年度の取り組み】

森林(もり)から海に至るまでの総合的な土砂管理の在り方を定めた「耳川水系総合土砂管理計画」を策定

【②平成24年度の取り組み】

平成24年7月 第1回 耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会開催

平成25年2月 耳川フェスティバル in 諸塚開催

平成25年3月 河口・海岸領域ワーキンググループ、ダム・河道・山地領域ワーキンググループ開催

【③平成25年度の取り組み】

平成25年7月26日 第2回 耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会開催

平成25年11月3日 耳川フェスティバル in 日向 (東臼杵南部農業改良センター及び道の駅「とうごう」にて開催予定)

平成25年度末頃 河口・海岸領域ワーキンググループ、ダム・河道・山地領域ワーキンググループ開催(予定)

河口・海岸領域WG(平成25年3月15日)



ダム・河道・山地領域WG(平成25年3月25日)



耳川フェスティバル in 諸塚(平成25年2月24日)



諸塚中学校による事例発表
「緑塚の自然・環境 ～御座川について～」



基調講演
「海と海のつながり～森は海の恋人～」

耳川水系総合土砂管理の
キャラクター Mimi

第2回評価・改善委員会

(平成25年7月26日)



第2回 耳川水系総合土砂管理に関する評価・改善委員会の検討結果(平成25年7月26日)

第2回評価・改善委員会において、耳川水系の山地から河口海岸までの各領域における、H24年度の各種取り組みについて評価した「耳川通信簿」を策定しました。

本年度は、耳川水系の**総合評価**及び、**各領域(山地、ダム、河道、河口・海岸)の評価**、全てにおいて「**△**」評価をいただいたところです。総合土砂管理の取り組みは始まったばかりであり、今のところ大きな改善は必要ないと思われれます。今後とも耳川をいっい川にするために、継続して順応的管理を行ってまいります。

【凡例】「○」よい・問題なし、「△」悪化が懸念・懸念事項あり、「×」問題が健在化している

【主なモニタリング結果】

○山地領域(裸地(崩壊地+伐採地))

⇒ 近年における伐採面積の増加、上椎葉ダム上流の大規模崩壊等の発生により、裸地(崩壊地+伐採地)面積比率は増加傾向にあります。

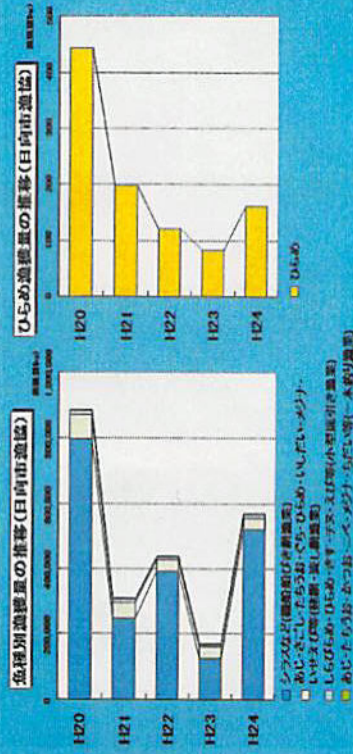


○ダム、河道領域(水質、河床材料、河道縦横断)

⇒ 全地点で環境基準を概ね満足しているが、土砂移動の連続性の遮断、河床低下が認められました。

○河口・海岸領域(近海漁獲高)

⇒ 海域の漁獲高は減少傾向にあります。



「耳川通信簿」の詳細については、県庁HPに掲載(耳川水系総合土砂管理計画で検索)しております。(http://www.pref.miyazaki.lg.jp/)

【九州電力による取り組み】ダム改造について

◆ 西郷ダムでは既設ダムやゲートの一部撤去を行っています(平成25年7月現在)

・洪水を安全に流下させるため、工事中には仮設のゲートを設置しています。

洪水時には、仮設のゲートを倒し、安全に洪水を放流します



改造前 (H24年10月)



現在 (H25年7月)



改造後 (イメージ・H28年)

*なお、出水期は原則、河川内での工事を一時休止しています。

洪水時に上流から流れてくる土砂を下流に流しやすくするための改造工事を実施しています。(平成23年～平成28年)